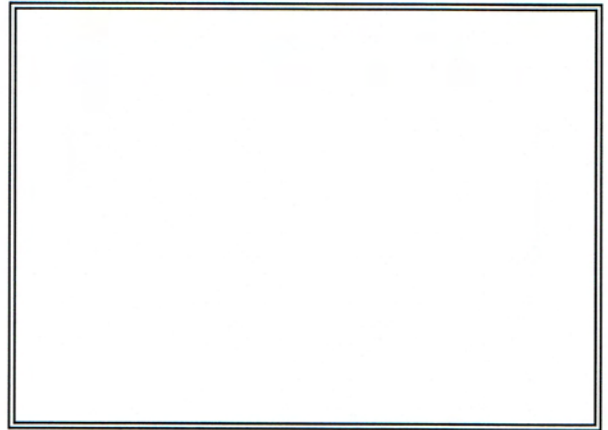


1. 2014年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み	予算比 (%)	前年比
収入	5,387	64.9 ↓
支出	6,015	85.0 ↗
経常収支差額	-629	↓

評価：稼働日の減少により収入は昨年度と比較し、大幅減となる見込みです。



② 職員配置と研修（職員数は2015年1月現在）

請求業務、案内業務等の実務担当に正職員1名を配置。主任は障がいGH主任が兼務する。宿直などの利用者支援はオガリ系、じらふ系の職員が対応にあたる。緊急対応の際は学生パートが宿直を担うこともありました。

③ 事業内容

企画実施はなし。
他部署の職員のシフト調整の兼ね合いから、稼働日が減少し利用率が前年度を下回る。（昨年度に比べ利用実績人数、約100名減）
緊急時対応のマニュアルを作成する。

④ 品質管理

特になし。

2. 2015年度の計画

① 予算案のポイント

費目	算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	6,223	⇒	各部署の職員体制から今年度と同様になると思われますが2014年度よりも向上を図ります
支出	6,359		

② 主課題

利用率の向上。稼働日が向上する宿直体制の構築。
障がい部門全体としてショートステイの意義、目的意識等を見直し、共有を図る。

③ 年間事業計画（予定）

毎月	ショート選定会議		